



のがき
**野垣あきこと
まちづくりカフェ**

HPはコチラ



2025年12月17日 No.239

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ！

西武新宿線は地下化に

下井草まちづくりラボ 駅前広場・交通結節点を再考

下井草まちづくりラボのテーマを変更

開催月	変更前	変更後
9月	旧早稲田通りの安全化	旧早稲田通りの安全化
10月	駅前広場・交通結節点	駅前広場・交通結節点
12月	みどりと景観	駅前広場・交通結節点
1月	にぎわい	みどりと景観

区は、予定していた「みどりと景観」は1月、「にぎわい」は次年度に実施することとし、今回のテーマは前回と同じ「駅前広場・交通結節点」にしました。

前回班ごとに取り組んだ5種

予定のテーマを変更し開催

西武線の野方く井荻間の連続立体交差化は、高架化か地下化かは未定です。しかし、前回のラボでは、専門家から高架化前提のような提案が出されました。私は区に対し、ラボには地権者も参加しており、このテーマは丁寧さが求められることを伝えました。

12月6日、杉並区は、第9回下井草まちづくりラボを開催し、再度「駅前広場・交通結節点について」をテーマとしました。

西武線連立の構造形式は未定 関わる問題は丁寧に

西武線の野方く井荻間の連続立体交差化は、高架化か地下化かは未定です。しかし、前回のラボでは、専門家から高架化前提のような提案が出されました。私は区に対し、ラボには地権者も参加しており、このテーマは丁寧さが求められることを伝えました。

各案は深掘りできたのか？

参加者からは、前年度からの「たたき台No.2」が決まった経緯や西武線の連続立体化の現状などは、これまでのラボに参加していないと分からない方も多かったようで、深掘りできたのか疑問だったとの声がありました。

また、駅前広場のイメージとして60枚の写真が準備されましたが、大きな駅や外国の例が多く、下井草の将来像に当てはめるにはギャップを感じました。

鉄道跡地の活用はどうしても必要になってくる

新たな班では、旧早稲田通りの一方通行化と、西武線を地下化した線路跡地に交通結節点を整備、土地の買収がいらぬ、という提案をしていました。(下図)

確かに、立ち退きを最小限に抑えるのは重要ですし、みどりや駐



輪場など、駅前広場に限らず必要なものがあります。限られた土地の中では、鉄道の線路跡地の活用も積極的に検討すべきだと思います。

大事な問題は時間をかけて

各班が発表したキャッチフレーズでは「下井草スケール」「仕事帰りに深呼吸」という表現に共感。大きな開発ではなく、静かでコンパクトな下井草の将来像を表すものだと思います。

このテーマを深めるには、区側も参加者にとっても、まだまだ議論が必要なのでは？と感じたワークショップでした。

演台を叩いた田中ゆうたろう議員の行為 警告決議案を可決

警告決議案に対する各会派・議員の態度

()は議席数

賛成	自民(8)、共産(6)、立憲(6)、公明(6) シ杉(5)、維無(3)、杉わ(1)、無(1) 杉ク(1)、fr(1)
反対	参政(1)、革新(1)
退席	無都(3)、安心(1)、国民(1)
他	議長(1)、セン(1)は本人で除斥

12月10日、杉並区議会は、一般質問中に演台を叩いた田中ゆうたろう議員の行為に対する警告決議案を可決しました。

2月にも戒告の懲罰 政治的立場を超え決議可決へ

党区議団など3会派は、今回案として提案されました。

の行為のあった11月に、田中議員に対しての懲罰動議を提出しました。しかし、5日の理事会で、議会運営委員会の全会一致で警告決議にできないかと提案があり協議を進め、今回の懲罰動議は取り下げられました。

そして、「令和7年11月26日田中ゆうたろう議員が一般質問中に演台を叩いた行為に対する警告決議」案が、議会運営委員会会の全12名から議員提出議案として提案されました。

議会の品位と秩序を守れ

決議案は賛成38、反対2、退席5で可決。各会派の賛否は表の通りです。杉並区議会として、品位と秩序が貶められ、人権侵害が繰り返されている状態に対し、賛成多数で警告決議が可決したことは前進です。

決議の全文は以下からご覧になれます。

岸本区長も強く抗議する

区長は「環境型ハラスメントと言わざるを得ない」「改めて厳重に抗議をする」と述べました。



区長の抗議はこれが初めてではなく、職員まで攻撃されることは、働く人の意欲を奪い、能力を存分に発揮できない事態を招きます。議会の社会的信用の失墜に留まらず、区政にとって大きな損失をもたらします。

議会全体では正すべき

田中議員の発言には、ミソジニー、人格攻撃なども含まれており、民主主義が大事にされるべき区議会でのまま認めてしまふことは問題があるため、議会全体での是正が求められます。議会では、一部発言について調査することとなりました。

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

毎週 水曜・金曜
14時～16時

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12
電話 03-3314-5551
(予約不要、先着順に受付)



あきづの部屋

民に押し付けるのだから、そんなことを言う資格はそもそもない。「外国人は国保料を滞納している」等のデマが飛び交っているが、国保料逃れの方が大問題。維新は自民と比べ企業・団体献金が少ないため、公金還流やキャバクラ政治など、あの手この手を使って私腹を肥やす策を練っているのだらう。「身を切る改革」というなら、政党助成金を受け取らず、自民党に制度の廃止をうったえたらどうなのか？

維新の会の議員が国保料逃れ疑惑、との二ユースが飛び込んできた。議員報酬の少ない一部の地方を除き、議員であれば、普通は最高額の国保料を負担しているはず。しかし、維新の議員は社団法人から少額報酬を受ける理事として社保に加入し、保険料は安価となるという仕組み。現役世代の社会保険料の軽減のためと医療費4兆円削減を主張する維新だが、既に自分たちは破格の保険料。痛みだけを国